

WEリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年3月16日実行委員会】

赤字が改定点

プロトコル 1（感染予防と、感染への対処）

JFA医学委員会への相談基準の一部見直し

No	現行版	3/16 改正	改定ポイント
1.	<p>14.公式試合を予定通り開催する</p> <p>(1) 陽性（含む、判定保留）判定を受けた選手はただちに自主隔離する（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない <p>(2)保健所による濃厚接触指定を受けた選手は自主隔離する（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない クラブの練習場を個人で利用することを、保健所に相談してよい（クラブハウスは使用しない） <p>(3)保健所による濃厚接触指定が試合に間に合わない場合、リーグ独自の基準で濃厚接触疑いを指定する（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年7月以降、複数の事案で各所の保健所から示された判断のもとに、リーグと専門家会議が協議して定めた基準を次項に示す <p>(4) (A) (B) (C) の該当者を除いたうえで、WEリーグ指定のオンサイト検査を実施し、試合を開催することを原則とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催可否の決定はチェアが行い、当事者クラブはこの決定に従う WEリーグ及び当事者クラブによる事前協議を実施することがある 関連ガイドライン「プロトコル 3 40.オンサイト検査実施の基準」 <p>(5)上記に関わらず 1 クラブ内に同時に複数（3人以上）の感染者が出た場合は、WEリーグを通じてJFA医学委員会に相談のうえ、試合開催可否を検討する</p>	<p>14.公式試合を予定通り開催する</p> <p>(1)陽性（含む、判定保留）判定を受けた選手はただちに自主隔離する（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない <p>(2)保健所による濃厚接触指定を受けた選手は自主隔離する（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない クラブの練習場を個人で利用することを、保健所に相談してよい（クラブハウスは使用しない） <p>(3)保健所による濃厚接触指定が試合に間に合わない場合、リーグ独自の基準で濃厚接触疑いを指定する（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年7月以降、複数の事案で各所の保健所から示された判断のもとに、リーグと専門家会議が協議して定めた基準を次項に示す <p>(4) (A) (B) (C) の該当者を除いたうえで、WEリーグ指定のオンサイト検査を実施し、試合を開催することを原則とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催可否の決定はチェアが行い、当事者クラブはこの決定に従う WEリーグ及び当事者クラブによる事前協議を実施することがある 関連ガイドライン「プロトコル 3 40.オンサイト検査実施の基準」 <p>(5)上記に関わらず、WEリーグは必要に応じJFA医学委員会に相談のうえ、試合開催可否を検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実態に即した変更 オミクロン株の流行に伴い複数名の陽性者発生事案が生じているが、多くの場合で管轄保健所に確認の上、試合やチーム活動が可能となっていることから文言を見直した なお保健所との連携が困難な場合や複数の客観的な見解を要する場合は従前どおりJFA医学委員会に相談のうえで開催可否等を検討する

WEリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年3月16日実行委員会】

No	現行版	3/16 改定	改定ポイント
2.	<p>V.有事対応（陽性。試合直前の発熱や濃厚接触疑い）</p> <p>16.有事での心構え</p> <p>(1) 新型コロナウイルスはいつ誰が感染しても不思議でない病気。ゆえに感染した人やクラブには見舞いをもって接するべきで、非難し禁忌するのはきわめて不適切</p> <p>(2) 2020年6月以降、日本だけでなく欧州でも、感染拡大を防ぎながらトップレベルのサッカーリーグを実施できている</p> <p>(3) 陽性判定、試合直前の発熱などの有事の際も、それぞれが求められる対処を着実、迅速かつ誠実に実行する。相互信頼に基づいて、公式試合を継続していく</p> <p>(4) 上記に関わらず1クラブ内に同時に複数（3人以上）の感染者が出た場合は、WEリーグを通じてJFA医学委員会に相談のうえ、慎重に判断する</p>	<p>V.有事対応（陽性。試合直前の発熱や濃厚接触疑い）</p> <p>16.有事での心構え</p> <p>(1) 新型コロナウイルスはいつ誰が感染しても不思議でない病気。ゆえに感染した人やクラブには見舞いをもって接するべきで、非難し禁忌するのはきわめて不適切</p> <p>(2) 2020年6月以降、日本だけでなく欧州でも、感染拡大を防ぎながらトップレベルのサッカーリーグを実施できている</p> <p>(3) 陽性判定、試合直前の発熱などの有事の際も、それぞれが求められる 対処を着実、迅速かつ誠実に実行する。相互信頼に基づいて、公式試合を継続していく</p> <p>(4) 上記に関わらず <u>1クラブ内に同時に複数の感染者が出た場合は慎重に判断する。JFA医学委員会の助言も参考とする。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記と同じ

プロトコル 3 : WEクラブの活動段階と、公式検査

オンサイト検査実施の基準の細則の設定

No	現行版	3/16 改定	改定ポイント
3.	(新規)	<p>XIV.オンサイト検査</p> <p>40.オンサイト検査実施の基準</p> <p><u>(3)検査実施の基準</u></p> <p>1 <u>試合前日からキックオフの 3.5 時間前までに、WEリーグ規約第 36 条①と③に定める選手・スタッフ（ドクターを除く、ベンチ入りの可能性のあるスタッフ）に新たに陽性者、もしくは陽性が疑わしい者（※）が 1 名以上出た場合</u></p> <p><u>※ 陽性が疑わしい者：かかりつけ医もしくはチームドクターの診断で決定</u></p> <p>2 <u>ただし、(1)で新たに陽性（疑い）となった者がチーム活動から 3 日以上離れている場合を除く。チーム活動を離脱した日を 0 日目とする。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象外となる基準を明記 ● 標準的な潜伏期間（約 3 日）を考慮した細則を設定

WEリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン 改定内容一覧【2022年3月16日実行委員会】

No	現行版	3/16 改定	改定ポイント
		<ul style="list-style-type: none">• <u>例えば、代表活動、入院、日本への入国前、陽性や濃厚接触者となって既に隔離されている場合などを想定</u>• <u>チーム活動から離れて2日以内に陽性（疑い）となった場合は、潜伏期間を考慮すると他のメンバーへ感染している可能性が否定できないことから（1）にない当日スクリーニング検査を行う</u>	